学校番号	１０１２

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭総合　自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	Ｌｉｆｅ　Ｄｅｓｉｇｎ　資料＋成分表＋ＩＣＴ　２０２５　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・食品の特徴と栄養素についての知識を身に付け、適切な食事について主体的に考え、実行できる力を身につけましょう。
・子どもの発達・発育について学び、保育者の視点を持って子どもとの関わり方について思考・判断できる力を身につけましょう。
・授業プリントは遅れずすべて記入して期限を守って提出しましょう。
・自分の生活の課題を見つけて解決に向けての方法を考えたり、友達と意見交換したりできるようになりましょう。

２　学習の到達目標

・食品の特徴と栄養素についての知識を身につけ、適切な食事について主体的に考え、実行できる力を身につける。
・子どもの発達・発育について学び、保育者の視点を持って子どもとの関わり方について思考・判断できる力を身につける。
・高齢者の現状と生活を理解し、身近な問題としてとらえる。
・様々な人々と協働できる力を身につけ、生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	食生活、子どもの発達・発育、消費生活、高齢者・高齢社会などに関する基礎的・基本的な知識・技能を身につけている。	食生活、子どもの発達・発育、消費生活、高齢者、福祉などについてその充実向上を図るための課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	食生活、子どもの発達・発育、高齢者、福祉などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	食生活をつくる	○栄養と食品の関わり ○食品の選び方と安全 ○これからの食生活を考える ＊調理実習	a:・食生活を営むことができるよう健康に配慮した食事について、課題を見いだし、解決する力を身に付けている。 b: 食の安全と衛生など，食と人との関わりや、ライフステージの特徴や課題に着目し，健康や環境に配慮した食生活について理解している。 c: 食生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組み，生活文化を継承し，生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント 実習レポート
2学期	経済生活を営む 子どもと共に育つ	○経済の仕組みを知る ○契約について ○購入と支払いのルール ○消費者の権利と責任	a:経済の仕組みや消費生活について正しい知識を身につける。 b:様々な契約や支払いのルールを知りこれからの自分の消費生活におこる課題の対処方法を考え実践できるようにする。 c:契約や支払いのルールや消費者としての責任ある行動について積極的に学ぶ姿勢がみられる。	定期考査	定期考査 授業プリント パフォーマンス課題	授業プリント レポート
3学期	超高齢社会を共に生きる	○超高齢社会の現状 ○高齢者を知る ○高齢者の自立と豊かな社会の実現 ○これからの超高齢社会	a: 高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 b: 高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し，解決する力を身に付けている。 c:高齢者との関わりと福祉について，課題の解決に主体的に取り組み、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度